



NPO 法人 マイクロサンプリング調査会

会報 MS リポート

6

2008年2月25日

第6号掲載内容

- ・ 会員寄稿文 1~2
- 『新年度に向けての年頭の挨拶と抱負』 1~4
- ・ 編集後記 4

輝かしい新年を迎えるにあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、私どもマイクロサンプリング調査会をご愛顧賜り心から厚く御礼申し上げます。

昨今の我が国の経済は原油の高騰をはじめ、円高傾向による為替の変動、株価の下落など経済に及ぼす影響が不安視されております。また、国の来年度の予算を見ても、公共事業の削減は余儀なくされているのが現状です。しかし、その反面、既存の構築物（埋設物）は老朽化を迎え、修繕等が必要とされているのも現実です。

そんな中でも、当調査会においては、社会情勢に流されること無く『信念・技術力』を持って立ち向かっていかなくてはなりません。

会報6号はそんな勇士の意気込みを、『新年度に向けての年頭の挨拶と抱負』と題して紹介いたします。

『21世紀の世代を担う 技術者への提言』

理事長 石橋 信利



昨今の公共事業のあり方が、国民等の世論を含め政府、行政側からも厳しく問い直されて、まさに価値観の多様化する時代にある。

行政に対して、各官公庁が独自の道を行っていたのが従来のシステムであったが、近年では急速に、そのシステムが確実に変化している。その事例として省庁の統合、公団公社等の民営化が挙げられる。それらの関連から急速に建設行政に大きな変革があり、建設業界では大打撃を受けているのが実情である。

そこで、我々調査会は、将来像のあり方を見つめ、時代の一步先を行く健全な未来の社会作りに貢献すべく体制で臨みたい。

軽率な振る舞いや言動をたしなめる関西人の言い回しに、「牛の涎」なる言葉があります。生きるがために只管に摂取した食物を反芻し続ける愚直であるが、懸命な牛の動作であることを表現したものと理解しています。表題は創業より25年間に涉って、名刺にしるした弊社の行動目標です。「牛の涎」で、今後とも行動目標にしたがって邁進したいと考えます。

『平成20年の年頭にあたって』

副理事長 長谷川 清廣

【拡大委員長】

株式会社 創建
取締役会長



会員の皆様、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。昨年の一文字は、“偽”となったようですが、日本の今の政治、経済、教育などの貧困ゆえでしょうか？平成20年の一文字は是非、明、楽となってほしいものです。

さて、願望は願望として、今は全ての企業、あらゆる団体がぬくぬくとした温室から、乱気流渦巻く外界に放り出された状態にあると考えているのは、小生だけではないと思います。こうなると、もはやまがいの物の経営、運営ではこの淘汰、選別の時代に

『 - SEEK FOR INNOVATION - 』

専務理事 荒木 統一

【史資料委員長】

扶桑技研株式会社
代表取締役



太刀打ちできないのは、理の当然でありましょう。まして先行きの当ても無いまま、一陽来復を願っているようでは生き残ってはいけません。経営とは、企業等を存続させることであると言われていています。そのためには、時として非常ともいえる手段をとらざるを得ない場合も出てくるでしょう。常に選択と集中を怠り無く、顧客や関係先との信頼関係に磨きをかけ、緻密で確実な業務を通じてあくなき利益追求を続けることしか道はありません。強い信念でこの荒波を乗り越えて行きましょう。

しかし、ここで決して忘れてならないことが1つだけあります。それは、バランスの取れた考え方を忘れてはならないということです。ややもすると自分の立場だけを擁護し他をかえりみない言動に走りがちです。我々の先輩たちは、人生も、企業経営も、“禍福なわのごとし”を忘れず、全てに対して長年培った信頼関係や、友人との熱い友情を何より大事にしてきました。励ましあい、助け合い、いわば切磋琢磨してきたものです。我々もおおいに見習い、明るくおおらかな間違いの無い人生を送ろうではありませんか。

『新年に向けて』

副理事長 渡辺 完

【広報委員長】

福田興業株式会社

専務取締役



皆様おめでとうございます。新年早々、免許更新いたしました。3年前の写真と比べ、全然変わらずむしろ若返っている自分に驚く次第。「健康な人は、病気になると言ったことを心配するが、病人は、健康になると言う楽しみがある」と先人がいう。当調査会は、会員の持つ知恵と技術とパワーで『発芽から開花』と言う喜びの年になり、私は広がる知己から貰うエキスで益々元気に若返る。

『新年に向けて』

理事 遠藤 雅孝

【財務委員長】

石福建設株式会社

土木部次長



平成20年もスタートしましたが、本年も宜しくお願いたします。今年1月早々に、マイクロサンプリング調査工(テクノ・ウォーターホールズ工法)を静岡県富士市内で2箇所施工します。本調査会が

発足して3年目も終盤となり、県内での仕事は2件目となりますが、まだまだ物件を増やしていく所存です。今後、調査会の会員活動及び工法のPRに勤めていきたいと思ひます。

『新規事業担当として』

理事 勝俣 健二

【新規事業委員長】

大林道路株式会社

管路部部长



マイクロサンプリング調査会に参画し、新規事業担当理事として地中埋設物情報管理に対する事業の確立を担当している。自社においても道路会社が既設埋設管のリニュー-アル分野に進出し、いわゆる新規事業に携わっている。無から有を生むにはそれなりの努力が必要であり、技術の売り込みは大変難しい。ましてITを駆使した情報管理等は物創りに携わってきた者にとって発想の転換が必要であろう。それなりに皆さんに助けられながら、新規事業立ち上げに努力したいものである。

『年頭を思う』

理事 亀岡 隆

【事務局主幹】

多田建設株式会社

常務取締役



今年の子年、私も還暦を迎えました。国内に於いても、高度成長と共に作り上げた社会資本整備が老朽化し、まもなくこの構築物も還暦を迎えるでしょう。地上での生活環境も悪化が進み、人が生活するために作り上げたもので苦しんでおります。マイクロサンプリング調査会がこの次世代再構築の一助と成ることを願っております。

『今年の抱負』

理事 山田 孝之

【技術委員長】

株式会社協和エクシオ

都市土木部部长



正月気分もそろそろ抜ける時期となりましたが、本年もどうぞ宜しくお願申し上げます。早速今年の抱負ですが、「NPOの既存技術に出来るだけ高

い付加価値を付けること、即ち工法の特徴を最大限活かして用途拡大を図ること」です。冬の寒さはこれからが本番です、風邪など引きませぬようご自愛下さい。

『年頭のご挨拶』

理事 吉田 安廣

【財務委員長】

三協マテリアル株式会社

代表取締役社長



昨年 12 月 14 日～15 日に九州大学工学部松井教授 et al.と共にインドネシア、ジョグジャカルタ市で開催された推進工法のセミナーに出席した。'06 年 5 月 27 日、ジャワ島中部及びジョグジャカルタ州を襲った地震 (M6.4) は 5 8 0 0 人以上の死者を出し、地下ライフラインの大半が破壊された。同国では、推進工事の経験は皆無と云う。マイクロサンプリング調査等に依る地下調査技術に依り確固たるインフラ整備が出来ることを想う日々である。

『新年に向けて』

新規事業委員 嶋田 善夫

東京ガス株式会社

導管研修センター所長代理



還暦を迎える新春に、出来得るならば「志学」・「而立」・「不惑」と、そして「知命」の時が戻ればと怠惰な寝床で願う元日。これこそ「耳順」に程遠く当に「逆順」と「巧言令色鮮矣仁」の天声を脳天に聞き、追って「泰山の雨垂れ石をも穿つ」と耳元で囁かれれば、その一滴の雨垂れとなってお役に立てることが身分相応と所信。

『新年に向けて』

技術開発部会長 川合 孝

株式会社協和エクシオ

事業開発本部課長



昨年は、広報・技術部会員としてホームページのリニューアルと、長期課題???となっていた九州地整へのNETIS登録手続きを行いました。新年度では調査会の益々の発展に少しでも寄与できるよう、更なる活発な活動をしたいと思っておりますので

ろしくお願いします。



『新年に向けての年頭の挨拶と抱負』

研修会部会長 中村 陽公

中村土木建設株式会社

代表取締役



新年、あけましておめでとうございます。今年は、皇紀 2 6 6 8 年^{つちのえひ}戊子の年で戊は茂の意味が語源で、

草木が茂り盛大になった状況をいい、^ね子は新しい命が種子の中に萌し始める有様を示しています。今年是我々マイクロサンプリング調査会にとって又、皆様にとっても繁栄の年になる予感がします。

さて、昨年の企業不祥事はすべて「偽」からでありました。顧客に対する情報を本音ではなく建前で逃げようとしたものばかりでした。これは対岸の火事ではなく我々も信頼を取り戻すには小さな約束をきちんと守り、地道に愚直に仕事に取り組む姿勢が大切であると痛感しております。無理をせず、身の丈に合った仕事を確実にこなしていきたいと思っております。一年間、よろしくお願いいたします。

『新年に向けての年頭の挨拶と抱負』

ホームページ部会長 平山 正晴

平山建設工業株式会社

取締役社長



新年あけましておめでとうございます。昨年を振り返りますと、食物、建設の偽装問題等、法律を無視した、偽りの年であったと思います。平成 20 年

は、偽物からほんまもんになるように、「義をもって、倒れるとも、不義に生きず」をモットーに、建設事業を通じて、よりよい環境づくりをめざし地域貢献に努めたいと思います。

『新年に向けての年頭の挨拶と抱負』

技術開発委員 望月 崇
飛鳥建設株式会社
技術本部長



新年のお喜びを申し上げるとともに、会員皆様方の本年のご健勝を心よりお祈り申し上げます。昨年は、低入札、総合評価方式の入札が増加し、全国を飛び回って1年が過ぎてしまったようです。このため、なかなか協会の活動ができなかったと反省しています。今年度はどう思うのですが、建設業界がどのように変化していくのか。また今年も昨年と同様になってしまうのか。今年もよろしくお祈りします。

『年頭のご挨拶』

研修委員 井上 禎二
株式会社イセキ開発工機
代表取締役

新年明けましておめでとうございます。

昨年は国内外共に多事多難な出来事が多く、特に経済活動によるCO2排出による温暖化により地球危機が叫ばれる等変化の激しい一年であったと思います。

当社は昨年3月に5カ年の再建計画を終了し、強い財務体質を持った企業に生まれ変わりました。今後は社会に貢献できる会社として邁進してまいります。

『年頭のご挨拶』

工法提案委員 白井 誠市
株式会社 クマキ
本管管理課 課長



天運というものが、人の世の形になってあらわれるのは、人の出会いと、つながりである。私の好きな文章です。年頭にあたり、今年も多くの方と出会い、人としてその方と少しでも考えが一つになることができるように、つながりが保てるように。良い出会いを目指していきたいと思っております。今年もよろしくお祈りします。



編集後記

本調査会会報（MSレポート）第6号を発行いたしました。編集にあたりご協力頂きました石橋理事長を初めとする各理事、委員の皆様有難うございました。

次号No.7号は、19年度マイクロサンプリング調査会総集編として、今年度の反省または、これまでの経験談・新しい事業、新しい施工方法等を含めての記事等を募集し掲載したいと思っております。

その際、原稿等の依頼をさせていただくことがありますが、ご協力の程よろしくお祈りいたします。

2008年 2月25日

MSレポート No.6

NPO法人 マイクロサンプリング調査会

理事長 石橋 信利

発行責任者 渡辺 完

編集 大橋 真一

〒131-0033

東京都墨田区向島 3-33-10 池田ビル3F

TEL 03-5608-6768

FAX 03-3624-1040

<http://www.microsampling.org>

office@microsampling.org